

# ITだより

ITだよりは、情報統括本部が提供する各種サービスやIT技術に関する役に立つ情報を、九州大学の皆さまに知っていただくための広報誌です。

Spring 2026

- セキュリティを強化して  
安全なIT環境を
- クローズアップ (樋口祐次 准教授)
- お知らせ
- TIPS
- おすすめの本紹介
- おすすめアイテム紹介
- コラム (大島聡史 准教授)

vol.26



## セキュリティを強化して 安全なIT環境を



近年、パスワード漏洩による不正アクセスが社会問題となっており、本学でもSSO-KIDを悪用した海外からの不正アクセスが多数発生しています。パスワードは、フィッシングやシステムの脆弱性などによるサイバー攻撃で流出する恐れがあり、個人情報の漏洩や学内システムの不正利用など重大な被害につながります。

このような脅威に対しては、パスワードを強固にするだけでは防御が困難であるため、本学では令和8年1月より、Microsoft 365サービス(全学基本メール、Teams、OneDrive等)の利用においてMFA(多要素認証)を必須化しました。これは情報セキュリティを強化し、安全な学内環境を維持するための取り組みです。

### MFA(多要素認証) Multi-Factor Authentication

MFAは、ログイン時に、本人のみ知っている情報(パスワード)、本人が占有して使用している機器(スマートフォン等)、本人固有の生体情報(指紋等)を選択的に組み合わせることで本人確認を強力に行うことができます。

重要な  
お知らせ

### MFA設定が必要です

本学のMicrosoft 365サービスを利用するためには、MFAの設定が必要です。本人確認を行うための認証アプリ(スマートフォンやPC)または電話番号を各自で登録し、MFAを有効化してください。設定方法や説明動画を情報統括本部(情報共有基盤事業室)のウェブサイトに掲載しています。

2026/9/1 強制的に有効化

～ 経過措置期間 ～

登録完了していないと

Microsoft 365 にサインインできません

なお、令和8年9月1日以降は、システムによりMFAが強制的に有効化されます。現在は経過措置期間(令和8年1月5日～8月31日)ですので、この期間内に必ず設定を完了してください。期間終了後に未設定の場合は、登録が完了するまでMicrosoft 365にサインインできなくなります。

また、重要な点については全学通知でもお知らせしますので、随時ご確認ください。

### MFA有効化後は?

通常はSSO-KIDとパスワードでログインできますが、異なる場所や端末からMicrosoft 365にサインインするなど、Microsoft側が不正アクセスの可能性を検出した場合に、追加認証が求められます。

### 身に覚えのないMFA通知には注意

自分がサインイン操作をしていないのにMicrosoft Authenticatorの通知や電話・SMSで認証を求められた場合、パスワードが漏洩し第三者に不正アクセスされている可能性があります。認証要求に不審な点を感じたときは、むやみに応答せず、情報共有基盤事業室にご相談ください。

《情報共有基盤事業室》

「Microsoft 365の多要素認証(MFA)について」

<https://ci.iii.kyushu-u.ac.jp/mfa/>



### 強固なパスワードの設定も

MFAの設定を行っているサービスにおいても、ID・パスワードの管理は必須です。現在使用しているパスワードについて、以下の点に留意し、強固なパスワードで利用してください。

- 全てのアカウントについて、異なるパスワードを設定し、パスワードの使いまわしはしない。
- 過去に使用していたパスワードの使いまわしはしない。
- パスワードは、12文字以上の十分に長く複雑な文字列に設定する。



# クローズアップ

情報基盤研究開発センター  
先端計算科学研究部門

樋口 祐次 准教授



## ソフトマターがもつ未知の可能性を 分子シミュレーションで一つひとつ解き明かしていく

情報基盤研究開発センター・先端計算科学研究部門に所属する樋口祐次准教授に、スーパーコンピュータを用いた分子シミュレーションによる、ソフトマターの研究について伺いました。

### —ソフトマターの研究とは

私が研究対象としているソフトマターとは、やわらかい物質のことで、金属やセラミックスのような硬くて重いもの以外は、だいたいこれに含まれます。ゴムやプラスチック、衣服の繊維、そして私たちの体も骨以外は基本的にソフトマター。実はとても身近な存在です。今の研究のメインはプラスチックです。買い物袋や機械の歯車などが壊れることは、資源の無駄や安全性の問題に直結します。「なぜ壊れるのか」が分かれば「どうすれば壊れにくくなるのか」も見えてくるはず。そのために用いるのが「分子シミュレーション」という手法です。ソフトマターは分子の集合体であるため、顕微鏡を使っても分子一つひとつの動きまでは見えません。そこでスーパーコンピュータを使ってプラスチックの分子の動きを計算し、可視化することで破壊の原因を解明しようとしています。

### —分子シミュレーションによる研究の先にあるもの

他の一つの例として、「DN(ダブルネットワーク)ゲル」特有の挙動や、破壊に至るまでのプロセスなどを、分子レベルのモデルに基づくシミュレーションによって再現することができました。DNゲルとは、人工軟骨などへの応用も期待されているソフトマター素材で、生体材料への応用に適した材料として注目されています。私の研究によるシミュレーション結果は、実材料の開発や医療応用に直接結びつくことを目的としたものではありませんが、その知見が将来的な材料設計や応用研究の基盤になることを期待しています。

#### 樋口 祐次 准教授

東北大学金属材料研究所助教、東京大学物性研究所助教などを経て、2022年4月から九州大学情報基盤研究開発センター准教授。先端計算科学研究部門所属。研究分野は、ナノテク・材料、高分子材料、自然科学一般、生物物理、化学物理、ソフトマターの物理。

### —研究を続けることの意義と展望

研究を始めて20年になりますが、まだまだ予測と現実の間には大きなギャップがあります。正直なところ、この先さらに30年かけて研究したとしてもソフトマターすべての解明はできないかもしれません。でも、それは裏を返せば「まだ分かっていないことがたくさんある」ということです。研究を続けていくことで、一つわかれば次のヒントになる。その一つひとつを埋めていけば、材料開発や新素材の設計など何か世の中の役に立てるかも知れない、そう思いながら、研究を続けています。未知の領域がたくさん残されているからこそ、探求のしがいがあります。



#### Episode Talk

研究者として駆け出しの頃、あるプロジェクトで発表したプラスチックの破壊の研究について、「現実の構造と違う」と一蹴されました。当時は計算自体が困難な未踏領域で、「できるわけない」と反発心を抱いたものです。しかし、そこで腐ることなく奮起し、3年かけて現実的な構造作成と物性再現に成功。あの時の悔しさと反骨心があったからこそ、誰も成し得なかった領域に到達できたのだと、今では厳しい指導に感謝しています。

# QRDM に新たに 2つのサービスが加わりました!



研究データ管理用ストレージシステム(QRDM)は、2023年12月からサービスを開始し、2025年7月から大規模またはセンシティブな根拠データの保存目的での長期保存用領域(HSM領域)の提供を開始しています。そして今回、新たに次の2つのサービスが加わりました。

## 1 研究室アカウント

センターや複数の教員からなる研究グループに対してアカウントを提供するサービスを2025年10月から開始しました。「研究室アカウント」という名称にしていますが、研究室に限ったものではありません。

これまでのQRDMのアカウントは教員のSSO-KIDに連動して作成されており、教員が異動してSSO-KIDが無効になると、基本的にはその教員に割り当てられた領域で保存していたデータにはアクセスできなくなります。一方、研究室アカウントは、アカウントの継続利用申請さえ毎年度行えば、保存していたデータへのアクセスは保証されます。



研究室アカウントの申請方法・利用方法 については、研究データ管理支援部門のweb pageの「お知らせ」をご覧ください。

<https://rds.dx.kyushu-u.ac.jp/news/2085>

## 2 退職教員の研究データの保管

九州大学では、「研究データの保存等に関するガイドライン」(平成27年8月18日実施)で、研究成果発表のもととなった実験ノート、数値データ、画像等の根拠データを論文等の発表後10年間保存することが義務付けられています。しかも、教員の退職の後も、発表後10年間は保存しておく必要があります。これに大学として対処すべく、退職教員の研究データの保管サービスを2026年2月から開始しました。

なお、預かったデータは大学等から開示要求があった場合は開示します。また、退職教員が公開を許可したデータに関しては、当該教員と協力して公開を進めていきます。



このサービスの申請方法等 については、研究データ管理支援部門のweb pageの「お知らせ」をご覧ください。

<https://rds.dx.kyushu-u.ac.jp/news/2217>

九州大学情報統括本部 <https://iii.kyushu-u.ac.jp>

**WEBサイト** = アップデート情報 =

### NEW PAGE Q&A よくある質問・回答

情報統括本部「よろず相談窓口」に寄せられた質問とその回答を集めたページができました。Microsoft 365やメール、ネットワークなど情報に関して「?」と思うことがあったら開いてみてください。

新しいページができました

#### 【質問】のカテゴリー

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. Microsoft 365 関連   | 6. 事務用システム関連 |
| 2. SSO-KID 関連         | 7. 情報機器の管理等  |
| 3. メール関連 (全学メールアドレス等) | 8. セキュリティ関連  |
| 4. ネットワーク関連           | 9. ソフトウェア関連  |
| 5. クラウド関連             | 10. その他      |

#### システム導入案内

COMING SOON

システムを新規に導入する際に、学内で必要な手順をまとめたWebページを2026年4月に公開予定です。



# TIPS

知らなくても困らないけど、  
知っていたら便利な  
豆知識、コツ、秘訣、裏技などを  
紹介します！



## 仕事にも日常にも役立つ iPhone のロック画面活用術

iPhoneは、初期設定のままでも使えますが、少し設定を変えて操作がぐっと楽になります。  
今回は、スマホ操作にあまり慣れていない方でも使いやすいiPhoneの便利な設定を2つ紹介します。

ロック画面の「カメラボタン」、「ライトボタン」を別の機能に変更する

【iOS 18以降】

### 設定方法

- 1 ロック画面を長押し
- 2 「カスタマイズ」を選ぶ
- 3 画面下の丸いアイコン左上の「-」をタップして削除
- 4 空いた箇所の「+」から機能を追加



- 変更しても、ロック画面を左にスワイプするとカメラは起動できます。
- ライトがいつの間にか点いていたという誤操作対策にも！

### 【おすすめの設定】

- メモ：すぐ書き留めたいときに便利
- ボイスメモ：打ち合わせなどを音声で記録
- 計算機：金額や数量をすぐに確認
- アプリを開く：よく使うアプリを1回の操作で起動

ロック画面に「天気」や「PayPay」などのアプリ情報を表示する（ウィジェット）

【iOS 16以降】

### 設定方法

- 1 ロック画面を長押し
- 2 「カスタマイズ」を選ぶ
- 3 「ウィジェットを追加」をタップ
- 4 「PayPay」と「天気」を追加（例）



### 【おすすめの表示】

- 天気：外出前に天気を確認
- 予定（カレンダー）：来客や会議の準備に
- リマインダー：今日のToDoを表示
- PayPay：タップで支払い画面をすぐ起動  
▶ 中サイズを選ぶと残高表示も可能（※任意）  
〈残高表示方法〉  
ロック画面長押し → 追加した PayPay (中) をタップ → 「PayPay 残高を表示」をオン



図書館職員に九大図書館の人気資料を紹介してもらいました

## おすすめの **本** 紹介

### プログラムはなぜ動くのか 知っておきたいプログラミングの基礎知識 （第3版）



<https://hdl.handle.net/2324/1001730764>

著者：矢沢久雄 出版社：日経BP

出版年：2021年

プログラムが「なぜ動くのか」をやさしく解説する入門書の改訂第3版です。  
コンピュータの基本からプログラミングの仕組みまで、「これからの10年も通用する基本」を丁寧に説明しています。  
プログラムの基礎を知りたい方に幅広くおすすめできる、理系図書館で人気の一冊です。



## おすすめの **アイテム** 紹介

仕事や作業に役立つ  
便利なアイテムを紹介します

〈SHOKZ〉 <https://jp.shokz.com>

### 骨伝導イヤホン OPENMOVE



音を耳に直接送るのではなく、頬骨を通した振動で内耳に伝える仕組みの骨伝導イヤホン。耳をふさがない構造のため、長時間の装着でも圧迫感を感じにくいのが特長です。さらに、使用中も周囲の音を聞くことができるので、Web会議中でも外からの声かけに対応できるのも大きな利点。頻りにWeb会議を行うかたに、特におすすめです。

# Column

情報基盤研究開発センター 先端計算科学研究部門

大島 聡史 准教授

日本国内の一般家庭にインターネットが普及したのはブロードバンド元年と呼ばれる2001年以降でしょうか。当時はインターネット接続業者などがWebサイト（ホームページ）を公開するサービスを多く提供していました。しかし、ここ数年で有名なWebサイト公開サービスがいくつも終了し、貴重な資料も多く失われてしまいました。若気の至りで作成したWebサイトが既に完全消滅している私としては、ちょっと安心していたりもします（笑）。一方で現在でも簡単にWebサイトを作れるサービスはたくさん存在します。一時期はいわゆるブログ作成サービスが流行しましたが、今日ではSNSの方が人気があるでしょうか。

オープンソースソフトウェアのコミュニティや情報系の学会Webサイト公開に使われているものとしては、githubやgitlabが提供するPages機能が挙げられます。Markdownという簡単な記法でWebページを記述できるうえに、HTMLやCSSを直接書くこともできるため、デザインの自由度も高いです。私自身も自分のWebサイトや研究室のWebサイトに利用しています。情報基盤研究開発センターが運用しているスーパーコンピュータのWebサイトも現在gitlab Pagesの機能を使ってリニューアル作業をしています。公開まではもう少しかかるかもしれませんが、ご期待ください。

